

4. フォーラムの開催

第2回エコツーリズムフォーラム2013 国内のエコツーリズム先進事例紹介と瀬戸内での活動



4. フォーラムの開催

第2回 エコツーリズムフォーラム 2013

Ecotourism Forum second 2013

-国内のエコツーリズム先進事例紹介と瀬戸内での活動報告-

瀬戸内海の自然・文化・歴史...
守り、育むエコツーリズム

日時：2013年 **3月9日** (土)
13:00~16:30 (開場12:30)

会場：リージャスひろしまハイビル21
(広島市中区銀山町3-1)

定員：100名

参加費：無料
※ご希望の方には別途講演集を1,000円で配布致します。

主催：瀬戸内ツーリズム推進協議会
後援：環境省中国四国地方環境事務所 (予定)
中国経済連合会
一般社団法人 日本旅行業協会
株式会社中国新聞社
学校法人鶴学園広島工業大学 (予定)
IWAD環境福祉専門学校
協力：NPO法人 自然環境ネットワークSAREN
NPO法人 自然と釣りのネットワーク
(株)グローバルコスモ
ひろでん中国新聞旅行 (株)
(株)近畿日本ツーリスト中国四国

会場までのアクセス、お申込方法、
お問合せは裏面をご覧ください。

プログラム

※プログラムは変更する場合がございます。
※交流会 17:00~18:30
(注：会場近くで行います。参加費3,000円が必要となります。)

■オープニング

開会挨拶 上嶋 英機 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長 (広島工業大学教授)
来賓挨拶 水谷 知生 環境省中国四国地方環境事務所 所長

■第1部

国内のエコツーリズムの先進事例紹介

- 基調講演1
「瀬戸内海エコツアー確立のための展望と課題」
フンク カロリン 広島大学総合科学研究科准教授
- 基調講演2
「地域住民と一体となったエコツーリズムの推進」
利根川 忠宏 飯能市エコツーリズム推進室 主査

■第2部 パネルディスカッション

「瀬戸内海におけるエコツーリズム活動の現状と課題」

- コーディネーター
上嶋英機 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長
- パネリスト
庫本 正 秋吉台地域エコツーリズム協会 会長
脇山 功 NPO法人自然環境ネットワークSAREN理事長
山本貴道 自然舎 代表
フンク カロリン 広島大学総合科学研究科准教授
利根川 忠宏 飯能市エコツーリズム推進室 主査

■クロージング

閉会挨拶 森永 智絵 広島県商工労働局海の道プロジェクトチーム 担当課長

日時：平成25年3月9日
13:00~16:30

場所：リージャスひろしまハイ
ビル21

参加費：無料

参加人数：約70名 (協賛者含む)

4. フォーラムの開催

瀬戸内海の自然・文化・歴史... 守り、育むエコツーリズム

本協議会は、「瀬戸内海の生態系景観を見つめ、自然と文化を探り、多様な自然を守る」ことを理念として活動しています。

また、エコツアーを構築、実践することで、自然環境の保全・人材の育成・地域振興・新たな観光ビジネスの創生を目指しています。

第2回エコツーリズムフォーラムでは、協議会が掲げる理念や具体的な活動内容を地域の皆様方に広く知っていただくこと、また、エコツーリズムに関する国内の先進事例や瀬戸内での現状の活動などについて共に学び、考えることを狙いとしています。

本フォーラムが瀬戸内海におけるインタープリターの育成や、エコツーリズムネットワークの拡大に繋がることを願っております。



Program

12:30 開場 ※プログラムは変更する場合がございます。

13:00

■オープニング

開会挨拶 上嶋英機 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長 (広島工業大学教授)
来賓挨拶 水谷智生 環境省中国四国地方環境事務所 所長

13:20

■第1部

国内のエコツーリズムの先進事例紹介

13:20

基調講演1
「瀬戸内海エコツアー確立のための展望と課題」
フंक カロリン 広島大学総合科学研究科准教授

14:40

基調講演2
「地域住民と一体となったエコツーリズムの推進」
利根川 忠宏 飯能市エコツーリズム推進室 主査

14:50

■第2部

パネルディスカッション
「瀬戸内海におけるエコツーリズム活動の現状と課題」

コーディネーター 上嶋英機 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長 (広島工業大学教授)
パネリスト 庫本 正 秋吉台地域エコツーリズム協会 会長
脇山 功 NPO法人自然環境ネットワークSAREN 理事長
山本貴道 自然舎 代表
フंकカロリン 広島大学総合科学研究科准教授
利根川 忠宏 飯能市エコツーリズム推進室 主査

16:20

■クロージング

閉会挨拶 森永智絵 広島県地域政策局海の道プロジェクト・チーム 担当課長

17:00

■交流会

(注:会場近くで行います。参加費3,000円が必要となります。)

18:30

Profile



フंक カロリン Carolin Funck 広島大学総合科学研究科准教授
ドイツ・フライブルク市生まれ。理学博士(地理学)。1987年に来日して以来、松山、西宮、京都、東広島で大学の教員として活躍。日本の農産漁村地域における観光開発をテーマにフライブルク大学で博士を取得。1998年から広島大学総合学部で人文地理学、観光地理学の教員となり、2006年の総合科学研究科設置以降、大学院で観光地理学を中心に院生の指導を進めている。研究テーマは持続可能な観光、海洋観光、外国人旅行者による日本国内観光であり、ドイツのバルト海と瀬戸内海は主なフィールドとなる。



利根川 忠宏 Tonegawa Tadahiro 飯能市エコツーリズム推進室 主査
1972年、埼玉県飯能市生まれ。1996年4月、飯能市役所に奉職。2011年より現職。「すべての地域と人の参加」を掲げる飯能市のエコツーリズムの取組みにおいて、地元では「あたりまえ」と思っている身近な自然や衣食住の技術など、地域の宝を、地元住民と一緒に掘り起こし、エコツアープログラムの企画、実施に取り組んでいる。現在、年間100以上のエコツアーが実施されている。



庫本 正 Kuramoto Tadahiro 秋吉台地域エコツーリズム協会 会長
1936年、香川県生まれ。山口大学文学部生物学科卒。農学博士。秋吉台科学博物館名誉館長。山口県環境教育学会長。秋吉台地域エコツーリズム協会会長。秋吉台地域における自然や歴史、文化を守りながら、地域観光の活性化に取り組む。昭和58年に著書「コウモリ-地下実験室からの報告」でサンケイ児童出版文化賞を受賞。平成3年文化大臣表彰、平成9年環境庁長官表彰(自然公園功労)。



脇山 功 Wakiyama Isao NPO法人自然環境ネットワークSAREN 理事長
1953年、瀬戸内海のほぼ中央部愛媛県に生まれる。1986年よりフリーカメラマンとして活動後、1997年有涯会社ウィットを設立。2010年自然環境の保全を目的としたNPO法人自然環境ネットワークSARENを設立。現在に至る。1999年愛媛新聞に瀬戸内海の写真とエッセイを連載。2001年NHK松山放送局(日本の自然・瀬戸内海)番組制作に携わるなど、瀬戸内海の景観写真を撮り続けている。2009年広島県景観会議第16回写真の部大賞を受賞。



山本 貴道 Yamamoto Takamichi 自然舎 代表
1972年小豆島生まれ。高校卒業後島を離れ、筑波大学にて生物学を学ぶ。卒業後は東京都に就職し、奥摩で3年間川の魚の研究をした後、小笠原父島で6年間海洋生物の研究をおこなう。小笠原で出会った大自然とそこで自由に生きる島人に心を大きくゆさぶられ、一念発起で前職を退職。2004年に小豆島に帰郷し、ガイドサービス「自然舎」を設立。小豆島の魅力を多くの人たちに伝えようと日々楽しみ中。



上嶋 英機 Ueshima Hideki 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長
1944年、福井県敦賀市生まれ。工学博士。1972年、通商産業省工業技術院の国立研究所に入所(現・産業技術総合研究所)。2005年より広島工業大学大学院工学系研究科環境学専攻にて現職。2010年、「一般社団法人瀬戸内海エコツーリズム協議会」理事長に就任。2011年、「瀬戸内ツーリズム推進協議会」会長に就任。所属団体には、世界自然環境保全会議・EMCS(科学政策委員)、瀬戸内海研究会(監事:企画委員)、広島県水環境再生研究会(副会長)、など。

【瀬戸内ツーリズム推進協議会の活動】

- 瀬戸内海国立公園における「瀬戸内海エコツーリズム」の構築
各種エコツアーの開発をおこなっています。
・宮島エコツアー(外国人ツーリスト向け・国内ツーリスト向け)
・安芸瀬諸島エコツアー
・芸予諸島エコツアー
- エコツーリズムのための人材育成
地域コーディネーターや、エコツアーガイド育成のための養成・研修体制の構築と実践的活動をおこなっています。
- エコツーリズムのための施設整備と地域活性化
宿泊施設等の施設整備計画の立案や、地域活性化のための基盤構築をおこなっています。



4. フォーラムの開催

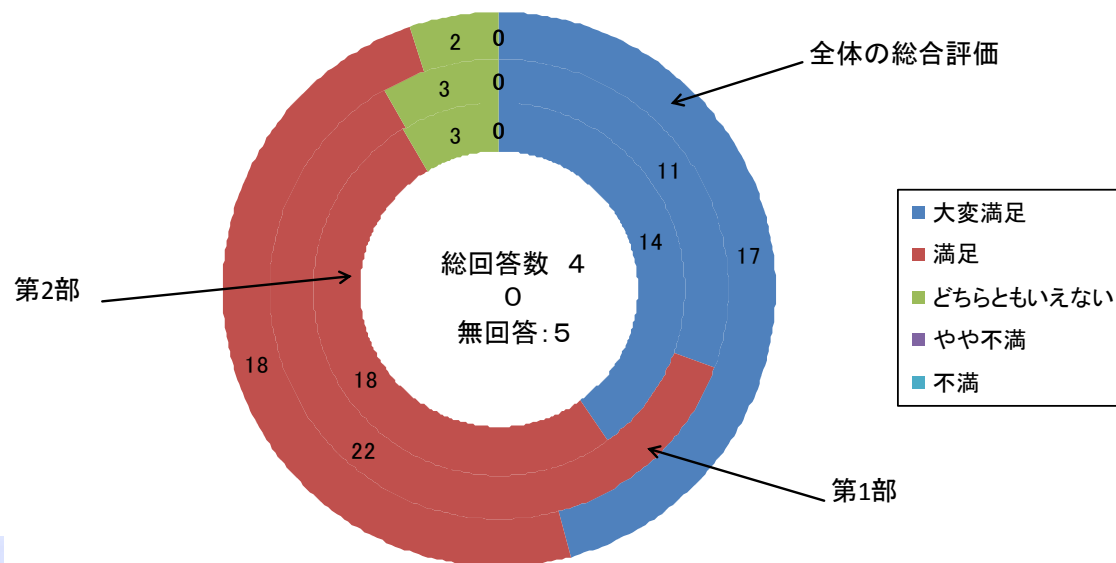


4. フォーラムの開催

参加者の声

Q1. 各講演の内容について

評価段階	大変満足		どちらとも いえない		不満		無回答
評価段階	大変満足	満足	どちらとも いえない	やや不満	不満		
全体の総合評価	14	18	3	0	0	5	
第1部 国内のエコツーリズム の先進事例紹介	11	22	3	0	0	4	
第2部 パネルディスカッション	17	18	2	0	0	3	



4. フォーラムの開催

参加者の声

Q3. エコツーリズムに関して関心のあること(複数回答)

項目	人数
エコツアールート構築	12
セミナー・フォーラム等の開催	5
地域コーディネーター人材の育成	15
コンテンツ(活動)の開発	14
エコツアーの商品化	15
外国人エコツアーの開催	4
施設の整備	3
ツアーガイドブック・エコマップ	9
エコツアーのシステム化(旅行業)	10
インフォメーション方法	11
無回答	5

